

# 議会運営委員会調査報告書

## 1 調査事件

議会報告会について

## 2 調査の経過

前記事件を調査するため、平成 25 年 6 月 13 日に当委員会を開いた。

### (1) 出席した委員

能見勇八郎 鈴木 逸朗 大田垣 強 坪内 一由 湊本 稔  
中島 利信 木村 圭介 上道 正明（議長） 波多野 優（副議長）

### (2) 欠席した委員 なし

## 3 議会報告会の開催と概要

平成 21 年 4 月からスタートした議会基本条例に基づき、4 回目となる議会報告会を 5 月 10 日から 29 日にかけて市内 12 会場で実施した。

参加者は、延べ 360 名で昨年と比べ 70 名の減少（うちアンケートは 229 名から提出され、昨年と比べ 9 名増）、しており、年々減少する傾向にある。

	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年
参加者（対前年増減）	537(▲157)	430(▲107)	360(▲70)
増減率	▲22.6%	▲19.9%	▲16.3%
アンケート提出（対前年増減）	313(▲44)	219(▲94)	229(10)
増減率	▲12.3%	▲30.0%	4.6%
アンケート回収率	58.2%	50.9%	63.6%

報告会は、昨年と同様に議長を除く 18 名の議員が会場ごとに 6 名のグループ編成による輪番制で行い、パワーポイントを活用する方法を採用した。議長のあいさつの後、総務常任委員会は『乳幼児・こども医療費助成制度について』、文教民生常任委員会は『温水プールについて』、産業建設常任委員会は『竹田城の有料化と周辺施設整備について』をテーマに掲げ、3 月定例会の内容を中心に各委員会 10 分程度の報告を行った。その後、参加者からの質疑、意見聴取とその応答を行った。

発言者数は 42 名、発言件数は 97 件で、今回の報告会テーマ以外の主な発言内容は、以下のとおりであった。

- ・総務常任委員会所管  
施設の維持管理（閉校小学校の跡地利用）、 など 7 件
- ・文教民生常任委員会所管  
新病院建設に対する要望 など 6 件
- ・産業建設常任委員会所管  
家庭ごみの収集方法等への意見、就業対策等、有害鳥獣対策 など 13 件
- ・その他（特別委員会等を含む）の所管

市長・議員の同日選挙、基金問題 など 11 件

以上のように、報告テーマ以外の項目についても多くの質疑や意見が出された。

#### 4 アンケートの集約結果

アンケートは、参加者 360 名の 63.6%となる 229 名から提出された。このうち、男性は 202 名で 88.2%を占め、年代別では 60 代が 47.6%と最も多く、次いで 50 代の 20.1%、70 代が 17.5%と 50 代以上が 88.6%と大勢を占めたことは、昨年と同様の傾向であった。

今年の議会報告会は、アンケートの提出数が増加しており、昨年から「その理由」欄を設けたことから、数多くのコメントが寄せられた。

説明内容について、「わかりやすかった」が 75.5%(前年 44.7%)、「わかりにくかった」が 5.7%(同 16.4%)、「どちらともいえない」が 12.2%(同 26.9%)、「未記入」が 6.6%(同 11.9%)となり、パワーポイントによるわかり易い説明により理解を深めることができ、特に「わかりやすかった」が前回より 30.7%も大幅に伸びたことは、配付資料だけでなくパワーポイントによる説明が功を奏していると考えられる。

資料は、「適当」が 77.7%(同 74.4%)、「不足」が 10.5%(同 20.1%)、「多すぎる」が 3.5%(同 0.9%)、「未記入」が 8.3%(同 4.6%)で、配付資料については今年も適当が昨年同様 7 割を超えたことから、資料については参加者も納得される準備ができたものと思われる。

説明時間については、「長い」が 3.5%(同 5.5%)、「ちょうど」が 85.6%(同 77.2%)、「短い」6.1%(同 8.7%)、「未記入」が 4.8%(同 8.7%)で、昨年と比較すると「長い」が 2%減少し「ちょうど」が 8%程度伸びた結果は、各委員会とも 10 分程度を厳格に守った結果とパワーポイントの成果もあり聞きやすかったものと思われる。

開催回数については、「年 2 回以上」が 26.2%(同 29.7%)、「年 1 回」が 66.8%(同 63%)、「開かなくてよい」が 4.8%(同 3.7%)、「未記入」が 2.2%(同 3.7%)で、昨年と比較して「年 2 回以上」が 5%減少し、「年 1 回」が 6%伸びていることは、ほぼ年 1 回が参加者の中に定着しつつあると判断して良いのではと思う。同時に、毎回参加者数に関係なく「開かなくてよい」が 11 名あることは気にかかる。

報告会の評価については、「評価する」が 60.1%(同 55.7%)、「評価しない」が 5.2%(同 6.4%)、「どちらともいえない」が 25.8%(同 32.0%)、「未記入」8.9%(同 5.9%)で、この 3 年間で全ての率が大きく変動していないが、「評価する」は少しずつではあるが上がっており、「評価しない」下がってきている。

#### 5 アンケートの回答に対するコメントの分析

##### ・「問 1 議会報告会の説明内容はどうでしたか」の問いに

「わかりやすかった」と回答した 173 名の内、コメントのあった 41 名ほぼ全員がパワーポイントの活用を評価し、説明が的確及び適切な回答であったとの内容であった。

「わかりにくかった」と回答した 13 名の内、コメントのあった 8 名は、「文字が小さい」「一方的な説明」「画面の展開が早い」などであった。

「どちらともいえない」と回答した 28 名の内、コメントのあった 10 名は、「専

門用語の解説」「議会側の具体的な対策案がない」とのことであった。

「回答なし」で提出された15名の内、コメントのあった1名は、「スクリーンをもう少し大きく」とのことであった。

・「問5 今回の報告会はどうでしたか」の問いに

「評価する」と回答した138名の内、コメントのあった41名の内容は、「議会での議論の内容や意見がわかりやすく説明された」「市議会というと身近に感じられないかと思うが、報告会を開催することにより、活動状況等がわかり、より身近に感じられる」「住民の意見、要望を直接聴取する機会として効果がある」などであった。

「評価しない」と回答した12名の内、コメントのあった4名は、「市民全体が必要とするものではないのでは」「地域に関わる内容を中心的に報告されるなら会場毎に内容が変わってもいいのではないか」といったものであった。

「どちらともいえない」と回答した59名の内、コメントのあった21名は、「形式の感じがした」「行政の役割、議会の役割がはっきりしていないのではないか」「議会の今後の活動に関する報告を要望する」との内容であった。

「回答なし」で提出された20名の内、コメントのあった6名は、「問題を説明するよりも解決策を説明してほしい」とのことであった。

## 6 アンケートの自由意見欄のコメント

アンケートの自由意見欄は、提出数229名のうち17名から意見等が寄せられ、その主な意見は、①参加者が少ない（事前PR、施設環境、女性・若者の参集）、②質疑に対しての対応が力不足、③報告会の質問に対する解答を、④報告テーマは参加者のニーズにあった項目を、などの意見が寄せられた。

## 7 委員会のまとめ

議会報告会の改善について、1/11、1/18、2/8、2/21、3/1、3/22の委員会で検討した。

最初、テーマを「健康」「経済」の2つに絞り、議員をグループ分けして行う案もあったが、最終的には昨年同様、各委員会でテーマを1つに絞り、10分程度で3月議会を中心に報告を行うことに決定した。

また、会場数についても統合する意見もあったが、今季は12会場を継続することとした。

改善した点、今後に残された問題点は以下のとおりである。

- ① 昨年の議会報告会で出された質問、意見等については、昨年の集約に基づき、所管の常任委員会、特別委員会等で回答の可能なものは文書にまとめ、報告で配布することとした。
- ② 報告のテーマの設定等については、改善を試みようとしたが、議会の機構問題などもあり、検討には十分な時間が必要である。新しい議会の検討課題として残る問題である。
- ③ 参加者をどう増加させるか、市民のアンケートにもあるように、開催の周知の徹底、その方法の検討、更には開催方法も含めて検討する必要がある。
- ④ 会場数についても、上記の参加者数の問題も含め、検討課題である。
- ⑤ 市民に議会報告の趣旨もかなり理解され、運営も大きな混乱もなく行われたが、

市長主催の市民フォーラムとの違いの認識、議会の本質的な機能の理解を図り、市民の意見の議会への反映方法を検討するなど、更なる改善が望まれる。

以上、朝来市議会会議規則第103条の規定により報告します。

平成25年7月9日

議長 上道正明 様

議会運営委員会

委員長 能見 勇八郎